

NOW 大商婦人会 創刊号

編集発行
大阪商工会議所婦人会
大阪市中央区本町橋2-8
TEL 06-6944-6212
FAX 06-6944-6250

現在、男女共同参画社会の実現を図るべく女性の社会進出が期待されており、本婦人会としても時代の要請に応え、この四十年間に培ってきた経験と

大阪商工会議所婦人会は昨年創立四十周年を迎えました。これを機に、会員間の情報交流を一層緊密なものとするため、この度、会報を発刊することになりました。

実績を活し、また大商の一組織としての認識とプライドを固持して、大阪の経済の発展に僅かでも役立てるよう努めたいものと思えます。

(株)田村治照堂 代表取締役社長



創刊によせて

大阪商工会議所婦人会
会長 田村 栄子

平成十一年度総会が開催されました

中澤 幸枝

六月二十二日、大商内において、平成十一年度通常総会が開催されました。

ごみといったものが感じられました。その後、昼食もそこそこに、講演会に入り、「なにわ文化よもやま話」と題しまして、直木賞受賞作家の難波利三様にお話いただきました。するどい感覚、描写、観察力でもって、食文化の発達から、大阪弁の美しさ、自由活達、パランス感覚といったところを、おもしろく人間愛あふれる語り口調で、今の時代うすれてはいる語り、人間として忘れてはならない生き本を、思いおこさせられ、学ばせていただいた貴重なお話でした。

八十九名の出席者のもと、始めに亡くなられた方々に黙とうを捧げ、ひきつづき田村会長の挨拶のあと、議事に移りました。平成十一年度事業報告、収支決算、つづいて平成十一年度事業計画、収支予算の議事が行われ、すべて承認可決されました。

(株)中沢寿士音楽事務所専務取締役

〈本年度 事業計画〉

4月	
5月	・田代新会頭との懇談会 (5/18)
6月	・近畿商工会議所婦人会連合会総会 (6/8 於：大津) ・大阪商工会議所婦人会総会 (6/22)
7月	・尾道商工会議所婦人会との交流懇談会 (7/13)
8月	
9月	・懇親旅行 (9/17~9/18 於：志摩・伊勢)
10月	・全国商工会議所婦人会連合会総会 (10/27 於：高知)
11月	・事例発表会
12月	
1月	・新年互礼会 (1/19)
2月	・海外視察会 (2/6~2/10 於：タイ)
3月	・事例発表会

新入会員ご紹介



生間 千鶴
マダム石鹸株式会社
代表取締役社長



石原 光子
株式会社三装
取締役



今井 和子
スリーコロナ株式会社
代表取締役



大山 多嘉子
オスカーワルブ株式会社
取締役



恩村 佐智子
株式会社鈴屋
専務取締役



開高 みどり
株式会社エトオプティク
代表取締役社長



上西 美智子
株式会社アシスト
代表取締役



木内 達子
株式会社マルヨシドレス
代表取締役



北本 親子
幸福米穀株式会社
常務取締役



澤田 多喜子
株式会社澤田商店
代表取締役



篠原 レイ子
株式会社ワールドビジネスセンター
取締役専務



嶋村 美津子
東洋車輛株式会社
取締役



高田 香代子
大弘印刷株式会社
代表取締役



高橋 由紀子
大一鋼業株式会社
代表取締役



滝野 淑子
株式会社ミラテック
代表取締役



多々納 百合子
有限会社タタノテレサービス
代表取締役



近持 晴子
チカモチ純菓株式会社
代表取締役社長



富永 道代
オリムピア製菓株式会社
代表取締役社長



中前 怜子
初田防災設備株式会社
代表取締役



西尾 サチ子
有限会社アンサー新
専務取締役



橋本 美和子
株式会社東洋建材社
代表取締役



春里 貫子
株式会社ノーマ
代表取締役社長



広井 恵美子
広和保険株式会社
代表取締役社長



藤井 千鶴子
朝日プラスチック株式会社
代表取締役社長



牧 吉子
有限会社ディ・ソネ
代表取締役



増田 葵
畑山自動車塗装株式会社
代表取締役



宮澤 知子
株式会社アクティプランニング
代表取締役



山路 良子
宝海苔株式会社
代表取締役

会員増強運動にご協力下さい。

みなさまのお知りあい、本婦人会にご興味がおありの方、本婦人会への入会をおすすめしたい方がおられましたら、お近くの組織委員へおしらせ下さい。

組織委員長
藤林フミヨ
(株)中日本冷蔵 代表取締役



(株)住研 取締役

この度広報委員会に於て、婦人会事業広報活動展開の一環として、機関紙を発行することになりました。あらゆる情報を提供し、よりよい婦人会運営が出来ることを願っています。

〈広報紙発行目的〉

一、婦人会事業を内外にPRする。

二、会員に情報発信

三、大商事業や、全商婦連、各地婦人会、政府等女性関係に関する情報を内外に提供する。

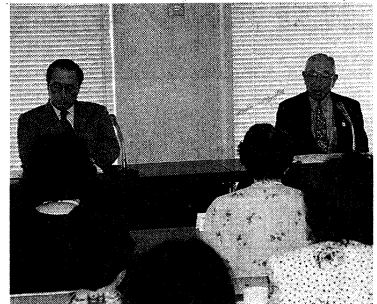
発行は年二回の予定です。今回は第一回の発行であり、不十分な所も多々ありますが、これ等を次回に生かして、皆様の御期待にそえる様努力致したいと思っております。多数の御意見をお寄せ下さいます様お願い致します。

発行にあたり御協力いただきました皆様からお礼申し上げます。

最近の婦人会事業

田代新会頭を迎えて

副会長 北條 美智子



5月18日、田代新会頭(写真右)との懇談会が開催された。(左は大野専務理事)

長年慣れ親しんで来た大西前会頭を頂いての幾年が夢うたかたの様過ぎました。送るその淋しさと新会頭様の御目もじに胸をはずましての懇談会でした。これは何と云ってよいのか、いずれ、「あやめ、かきつばたとでも表現する

のか、御風格、その御経歴の御立派を感じました。思いやる、やさしさに満ちた御風貌、いづれ劣らぬハンサムさに大西前会頭と田代新会頭には、差を見つけ得られません。さすが大商會頭の大きさに圧倒されつばなしでした。そのお人柄に親しみと幸せを感じながら、二時間ほどの懇談会に知らず知らず引き込まれました。

田代会頭は近畿日本鉄道(株)の会長でいらつしゃいますが、幾代か前の故佐伯会頭も、同社のご出身でした。これは私事ですが、奈良に住んでいた私の母と故佐伯会頭の奥様とは親しく、晩年は、生駒のある病院に誘い合っ入院したほどで、そんな訳だけでもありませんが私共も、お親しく付き合っていました。実家を奈良に持ち、工場を東大阪に、そして営業所を今里の工場街にと、私は、奈良に深

第11回近畿商工会議所婦人会連合会総会に参加して

常任委員 飯田 徳子

第十一回近畿商工会議所婦人会総会が、去る六月八日に琵琶湖ホールにて開催され大商婦人会より五十余名が参加致しました。一時三十分より開会され、婦人会の歌斉唱、物故者黙祷、各会長挨拶、御来賓祝辞と、運びそのご挨拶の中に二〇〇〇年に環境サミットが琵琶湖ホールにて行われるとかそれぞれの目標を保持したお話に感服しました。美しい自然にマッチした建築様式、特に音楽堂は優れたものでした。四十婦人会、六

百八十四名が共にオペラの歌を鑑賞しその後、懇親会の為、大津プリンスホテルの淡海式ホールへ移動しました。入場と共に太鼓の音に、誘われて一変した中に日本古代の日吉大社日吉鼓童による舞(一般的には見られない)の事でした。また観世流家元、片山清司様の能の舞に感激致しました。すべての事に心配りがゆきとどいており大変有意義な一日を過ごさせて頂きました。そして文化と商法と一対したものと学びました。来年度の近畿大会は、洲本と決まりました。皆様の御参加を募ります。(飯田金属工業(株) 専務取締役)

尾道商工会議所婦人会との交流懇談会

荻田 緋佐子

七月十三日に尾道商工会議所婦人会の皆様をお迎えし交流懇談会が開かれました。両会長の挨拶に続いて活動概要の説明がありました。尾道婦人会の活発な活動を聞いて只々驚くばかりです。各委員会活動は元より同好会活動や特に毎年四月二十九日に開かれている「さくら茶会」は、他府県からも参加され二千五百人もの大勢の人たちを集めて行われており、芸術品とも思われる景品が当たる抽選

会も人気のひとつになっているそうです。その景品も会員さんによって集められます。会員数が多い少ない、歴史が浅い古いは何ら関係ないことだと思えました。会員のやる気、協力、団結が最も大切であることを知りました。昼食後は場所を変えて、尾崎顧問の講話を聞きました。婦人会の意義、男女共同参画、男女雇用機会均等法の事、そして船場で生まれ育ったご自身のお話に感銘を受けました。最後に玄関ホールで参加者全員で記念写真を撮り尾道の皆様とお別れしました。(城東印刷(株) 代表取締役)



尾道婦人会との交流懇談会では、総勢百名近い女性経営者が一堂に会した。

経営事例発表

社長業35年間を振り返って



浅井印刷株式会社 代表取締役会長 浅井和歌子

当社は企画から制作、印刷、加工、デリバリーまで、一貫した受注生産会社です。昭和三十四年一月大阪市天王寺区東雲町にて、故夫浅井三郎が創業、昭和三十七年一月創立者浅井三郎の死去のため、考えた末、社員のため、子供のため、「成せば成る」の一途の願いで事業継承の道を選び、この日から私の人生が変わりました。

昭和四十二年四月に株式会社化し、社長就任後、一年二年とたつうちに営業責任者が得意先を持って退社し、どんどん仕事も減り窮地に立たされました。幸い工場の設備は最新機器を導入していましたが、故浅井三郎は業界での顔も広く、又社員の事も考えると印刷の下請をした方が気が楽だし、営業員も少なくてすむと考えると事業の方向転換をしました。

当時は人手も心配なく、地方からの集団就職者を迎え入れ、住込みとして採用し、仕事も多く夜遅くまで働いてくれました。下請工場は機械が主力です。最新式印刷機を導入する資金のやりくりも大変でした。工場も手狭になり移転する事にし、昭和四

八年九月城東区放出に移転、さあこれで又稼いで借金を返済して、と意気込んで新工場に着手しましたが、その一ヶ月後オイルショックで印刷業界を恐怖の底へと。用紙不足では仕事になりません。機械は動かさずのまま約二ヶ月どうにかせねばの焦りのみです。この時期人生二度目の窮地でした。どうやら三ヶ月後頃から用紙も出まわり機械も稼働し出しました。

昭和五十四年他社に勤めていた長男を入社させました。長男は下請の仕事では将来会社は行詰まる、直受注にして行くことと申し長男が入社したのを転機に徐々に下請から脱却し、平成五年頃には直受注が売上の九割を占めるようになりまし。何とか内製化を図りたい、これからはデジタルの時代、平成七年一月マッキントッシュ三台を入れ三人の女性オペレーターも採用しました。その頃FD、MO入稿はまだ二割程度で版下、フィルム入稿が大半を占めていました。デジタル入稿は、瞬間に増え一年後にはその比率がほぼ逆転、そこで、又CTP(ノーフィルム)を導入しました。菊全判のアルミのプレートセットとしては、関西で初の導入でした。この導入は当社の大きな武器として顧客に積極的にアピールして行きました。私はこの時代の目まぐるしいコンピュータにはついて行けません。このCTP導入と同時に長男が社長に、私は会長に就任し今日に至っています。

主人を亡くして三十七年間の永い人生責任のある仕事を、多くの人に助けて頂き、私なりに苦勞をしながら歩んで参りました。今後は婦人会の皆様、宜敷く御指導下さいます様、お願い申し上げます。

経営ワンポイント

自社商品の「売価」の決定は、誰の手に!?



貝原 富美子 所長 貝原 富美子 員原税務会計事務所

私の事務所のお客様や日頃何かと接する機会のある社長様の企業―その多くが中堅・中小企業です。だから―と決めつけてしまつては、この先の話が展開できないのですが、その企業が販売している製品・サービスのほとんどすべては納入先であるお得意先や競合他社によって販売価格が決定されているようです。会員の皆様の企業ではいかがでしょうか? 納入先に価格決定権があるという事は、それが「粗利」の低下となり結果的に会社の出すべき「経常利益」を押し下げ、場合によつては赤字決算にしていまいます。(国税庁の税務統計では赤字企業の割合が実に七〇%を超えました。現在、納入先の企業も価格競争の激しいなかでの経営ですから当然だと言えます。

「大企業でもない我が社に自社で価格決定出来る力がある筈がない。」と経営者が諦めている限り、少々努力しても収益性のよい会社にはなり得ないという事ではないでしょうか。どう大変で難しくても「売る値段は自社で決める」努力をし続けることです。どうすれば自社で価格決定ができるか? 項目のみ列挙してみます。

- イ. 自社で最終ユーザーまでの販売ルートを持つ。
- ロ. 「技術」「商品」「サービス」に自社独自のものをもつ。小さなことでもひとつづつ。
- ハ. 取扱商品、業界の特殊性からどうしても自社で価格をほとんど決定できないときは―
- その業種から無理なく撤退する方策を講ずる。
- 仕入ルートを開拓し、必要な粗利益率が確保できるようにする。

「価格決定権は自分の会社にある!」企業に。 松下電器でさえ新製品が出来たと、企業にあの幸之助氏が一線を引いて後も「これはなんぼやな。」と販売価格を決定していたという実話があります。会員諸師の身近な例では、日本でエルメスのバッグを買おうとされてその商法に驚かされた経験をお持ちの方も多し筈です。価格決定権―それも正価での販売―ばかりか納期もメーカーが決定することも可能なのです。リストラと経費削減の行きつくところに企業の明るい未来が展開している筈はありません。企業の利益は売価決定力の強弱にあることを。